



令和6年度第2回在宅医療推進協議会

資料2

在宅医療データ分析事業の実施状況

神奈川県健康医療局保健医療部医療企画課

1 概要

- 前回会議にて御報告した通り、医療企画課では、地域の在宅医療提供体制に求められる医療機能の確保に向けた議論の材料となるよう、①入退院支援、②日常療養支援、③急変時対応、④看取りの視点から、医療資源投入量や疾病構造、患者の状態等の現状と課題の分析に必要なデータを収集し、分かりやすく可視化していくことを目指し取り組んでいます。
- 令和6年度は、保健医療計画の在宅医療提供の現状把握のための指標を②日常療養支援、③急変時対応、④看取りの視点で把握できるように可視化しました。
- そこで、今回は、可視化に用いたデータについて御説明するとともに、「そのデータから何が分かるのか」など、可視化した結果（表、グラフ等）の読み方も御説明します。

2 令和6年度に可視化したデータ

- 令和6年度は、関東信越厚生局から、「在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院に係る報告書」データを独自に入手し、同報告書様式11-3の可視化に取り組みました。
- 次スライド以降で可視化した結果（表、グラフ等）を御説明します。

【データソース】「在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院に係る報告書」様式11-3※

【対象年度】令和2年度報告～令和6年度報告

I. 直近1年間		に在宅療養を担当した患者について	
1 平均診療期間		在宅医療を開始してからの診療期間を患者ごとに算出し、保険医療機関における平均診療期間（月単位）	
2 合計診療患者数		直近1年間に在宅療養を担当した患者数	
【再掲】死亡患者数	①+②+③+④	在宅療養を担当した患者の死亡者数	
（1）うち医療機関以外での死亡者数	①+②	①と②の合計	
アうち自宅での死亡者数	①	自宅での死亡者数	
イうち自宅以外での死亡者数	②	老健等の入所施設での死亡者数	
（2）うち医療機関での死亡者数	③+④	③と④の合計	
アうち連携医療機関での死亡者数	③	緊急時に入院できる医療機関として届け出ている連携医療機関での死亡者数	
イうち連携医療機関以外での死亡者数	④	上記以外の医療機関での死亡者数	
超重症児又は準重症児の患者数		在宅医療を担当している患者のうち、超重症児又は準重症児の患者数	

II. 直近1年間		の訪問診療等の実施回数について	
訪問診療等の合計回数	①+②+③	①と②と③の合計	
（1）往診	①	往診とは患者の求めに応じ、速やかに患者に赴き診療を行った場合	
【再掲】うち緊急往診		緊急の往診は、緊急又は夜間・休日若しくは深夜に行った往診	
（2）訪問診療	②	訪問診療とは定期的ないし計画的に訪問し診療した場合	
（3）訪問看護	③	当該医療機関で訪問看護を行った回数	

※ 個票データは関東信越厚生局からの提供待ち中のため、様式11-3(R2～R5)を可視化。

3 可視化結果（表、グラフ等）一覧

- ① 医療機関数の推移 1 都 3 県（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）
- ② 高齢者保健福祉圏域ごとの在支診・在支病数及び85 歳以上人口の経年比較
- ③ 直近 1 年間に在宅療養を担当した合計診療患者数
- ④ 直近 1 年間に在宅療養を担当した患者の平均診療期間
- ⑤ 直近 1 年間に在宅療養を担当した合計診療患者数の死亡者数(看取り)
- ⑥ 直近 1 年間の訪問診療等実施のうち、往診数(急変時の対応)
- ⑦ 直近 1 年間の訪問診療等実施のうち、往診のうち緊急往診数(急変時の対応)
- ⑧ 直近 1 年間の訪問診療等実施のうち、訪問診療数(日常療養支援)
- ⑨ 直近 1 年間の訪問診療等実施のうち、訪問看護（緊急含む）

3 ① 医療機関数の推移 1都3県（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）



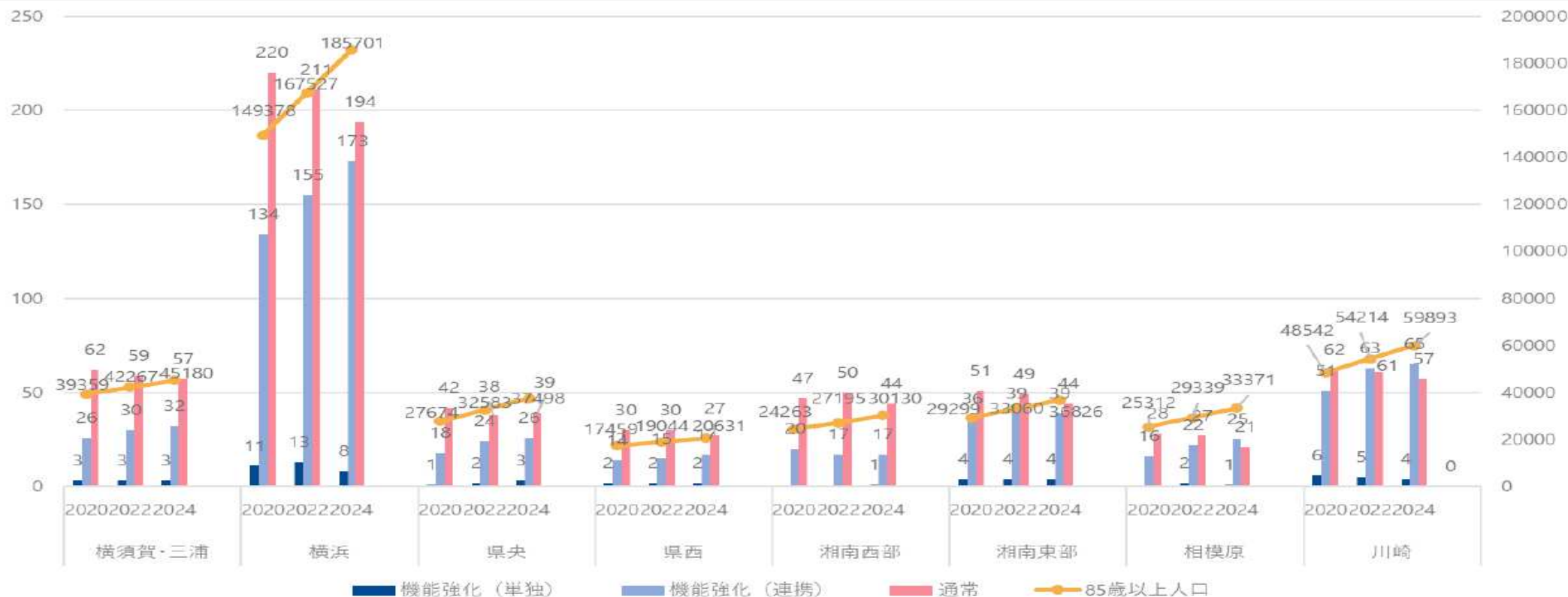
出典：関東信越厚生局、在宅療養支援診療所及び在宅療養支援病院に係る定例報告の経年比較（2024（R6）年度）神奈川県版

※通常：在宅療養支援診療所・病院(機能強化型以外)

✓ 1都3県の在宅療養支援診療所及び在宅療養支援病院の施設数はすべての区分で伸びている

Kanagawa Prefectural Government

3 ② 高齢者保健福祉圏域ごとの在支診・在支病数及び85 歳以上人口の経年比較



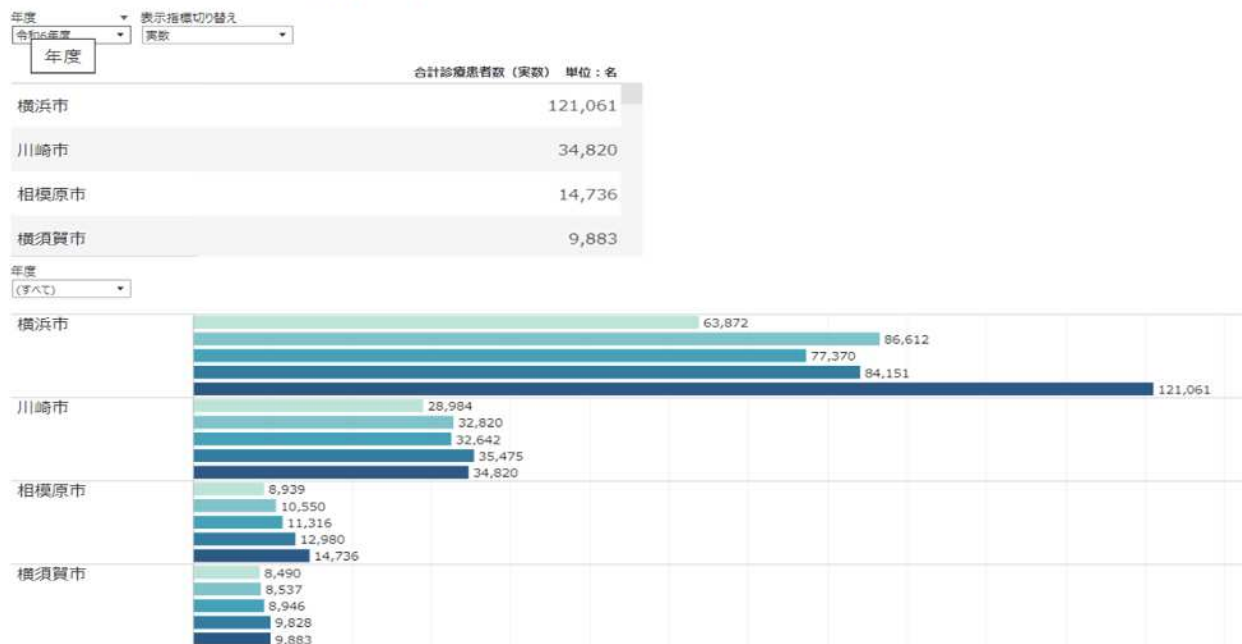
出典：関東信越厚生局、在宅療養支援診療所及び在宅療養支援病院に係る定例報告の経年比較（2024（R6）年度）神奈川県版

- ✓ 日常の療養支援に必要な体制である在支診・在支病については、施設1件あたりの負担が大きくなならないよう、85歳以上人口の増加(主な療養対象者)に合わせて増加していることが望ましい
- ✓ 県内では、横浜、川崎地域以外は横ばいの状況

Kanagawa Prefectural Government

3③ 直近1年間に在宅療養を担当した合計診療患者数

直近1年間に在宅療養担当した合計診療患者数



直近1年間に在宅療養担当した合計診療患者数



✓ 在支診及び在支病が直近1年間に在宅療養を担当した合計診療患者数を市町村ごと、年次ごとに実数又は1万人対で把握

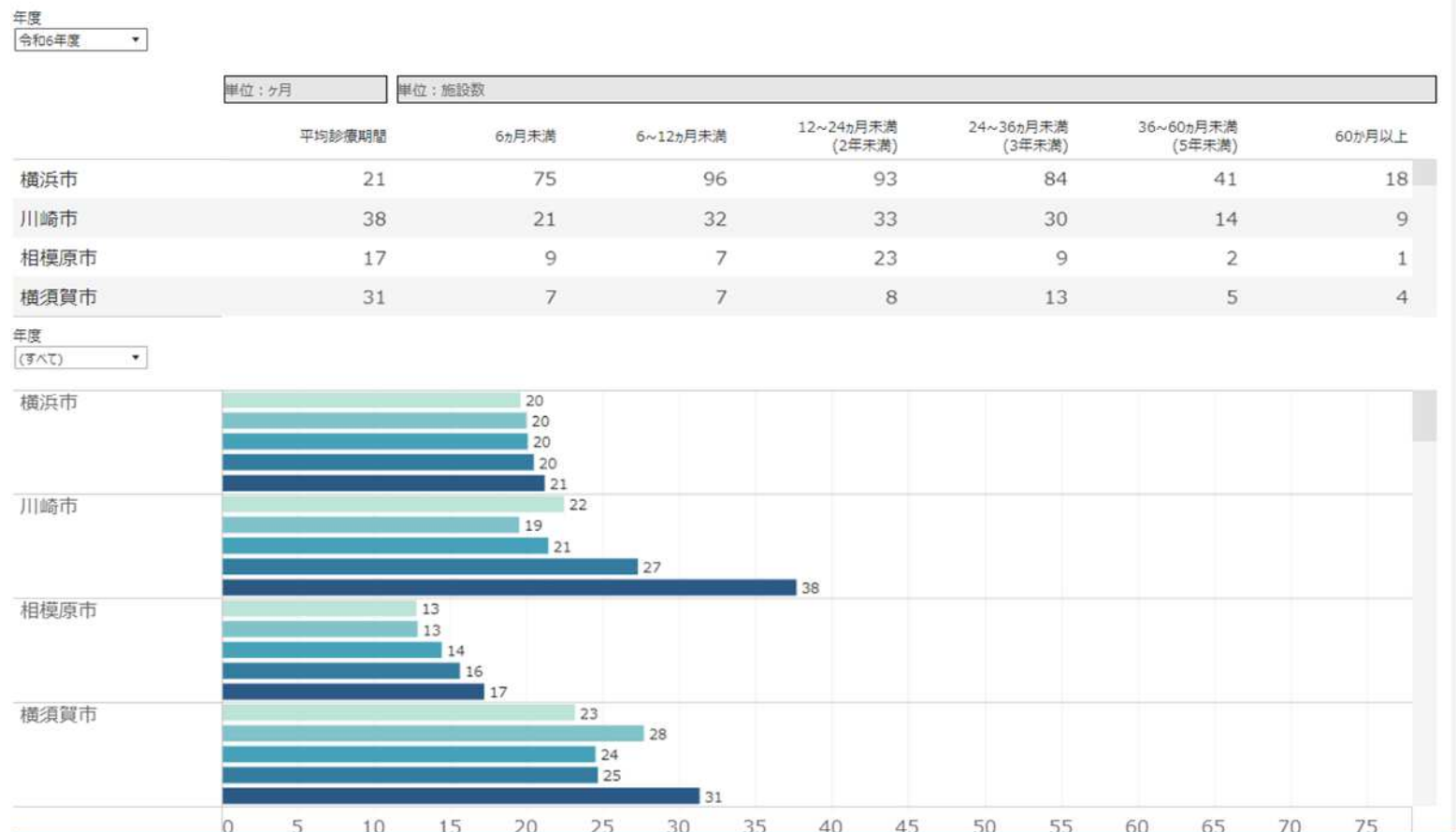
- ◆ 患者数の推移は各地域で高齢者人口の伸びと同様の傾向で増加
- ◆ 患者数人口1万人あたりでは、都市部より高齢化率の高い地方都市において対応患者数が多いことがわかる

Kanagawa Prefectural Government

出典：関東信越厚生局「在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院に係る報告書（様式11-3）」を県医療企画課にて集計

③④ 直近1年間に在宅療養を担当した患者の平均診療期間

直近1年間に在宅療養担当した患者の平均診療期間



Kanagawa Prefectural Government

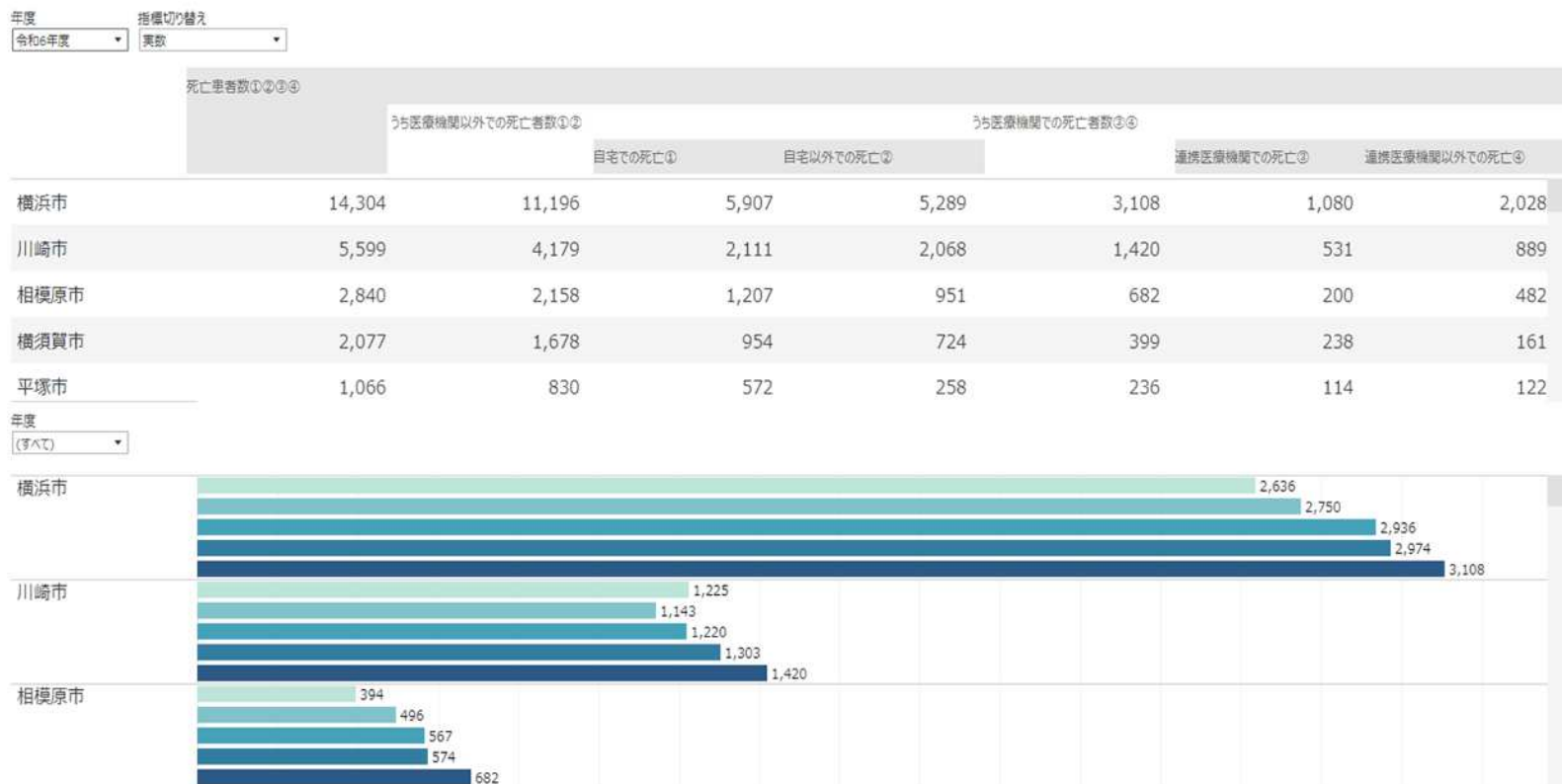
- ✓ 表で各市町村別の平均診療期間、診療期間分布を把握
- ✓ グラフで平均診療期間の年次推移を他市町村と比較

- ◆ 各地域で平均療養期間は、24ヶ月前後の地域が多い
- ◆ 悪性新生物等療養期間の短い患者に対応する施設が多い地域では1年以内との回答施設が多い
- ◆ 一部、町で対応が長い患者がいる場合や町規模では長期期間に担当している傾向

出典：関東信越厚生局「在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院に係る報告書（様式11-3）」を県医療企画課にて集計

3 ⑤ 直近 1 年間に在宅療養を担当した合計診療患者数の死亡者数(看取り)

直近1年間に在宅療養担当した合計診療患者数の死亡者数



- ✓ 各市町村別に診療患者の対応場所ごとの死亡数を年度指定で把握
- ✓ グラフで年次推移を他市町村と比較
- ✓ 人口1万人対での表示も可能

- ◆ 各地で在宅療養患者の看取りは微増傾向
- ◆ 一部、地方地域において令和3、4年をピークに減少に転じている
- ◆ 在宅療養患者の死亡の場では、医療機関以外(自宅・施設)が増加傾向

Kanagawa Prefectural Government

出典：関東信越厚生局「在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院に係る報告書（様式11-3）」を県医療企画課にて集計

③ ⑥ 直近1年間の訪問診療等実施のうち、往診数(急変時の対応)

直近1年間の訪問診療等実施のうち、往診

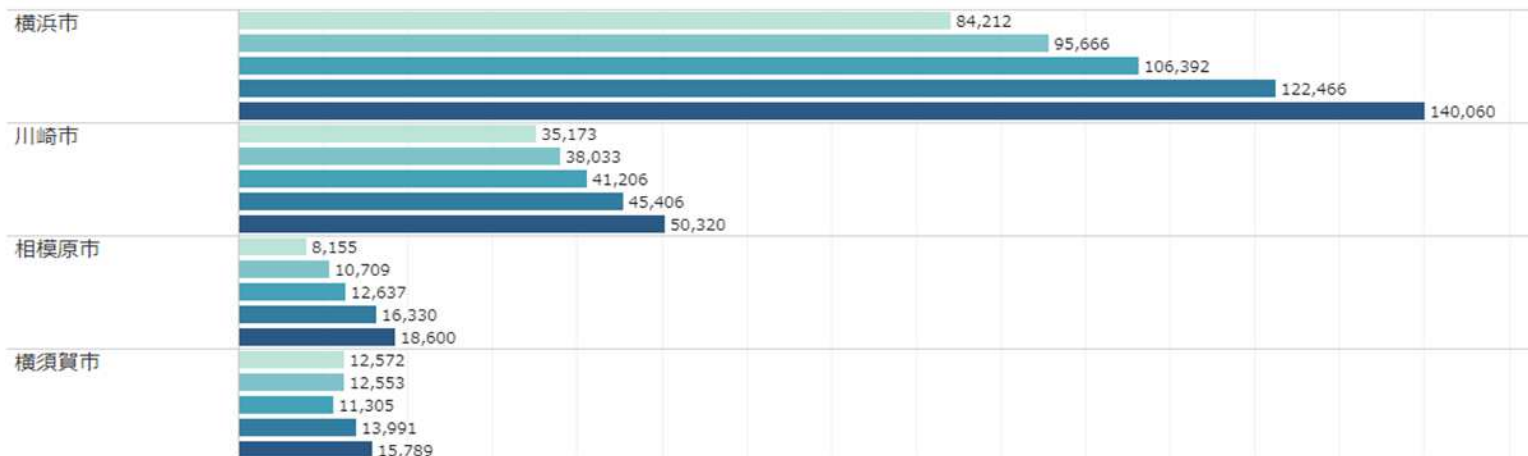
年度
令和6年度 ▼

表示指標切り替え
実数 ▼

往診(実数)

横浜市	140,060
川崎市	50,320
相模原市	18,600
横須賀市	15,789

年度
(すべて) ▼



Kanagawa Prefectural Government

出典：関東信越厚生局「在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院に係る報告書（様式11-3）」を県医療企画課にて集計

- ✓ 各市町村別に往診数を年度指定で把握
- ✓ グラフで年次推移を他市町村と比較
- ✓ 人口1万人対での表示も可能

- ◆ 都市部で増加傾向
- ◆ 地方では横ばいの状況

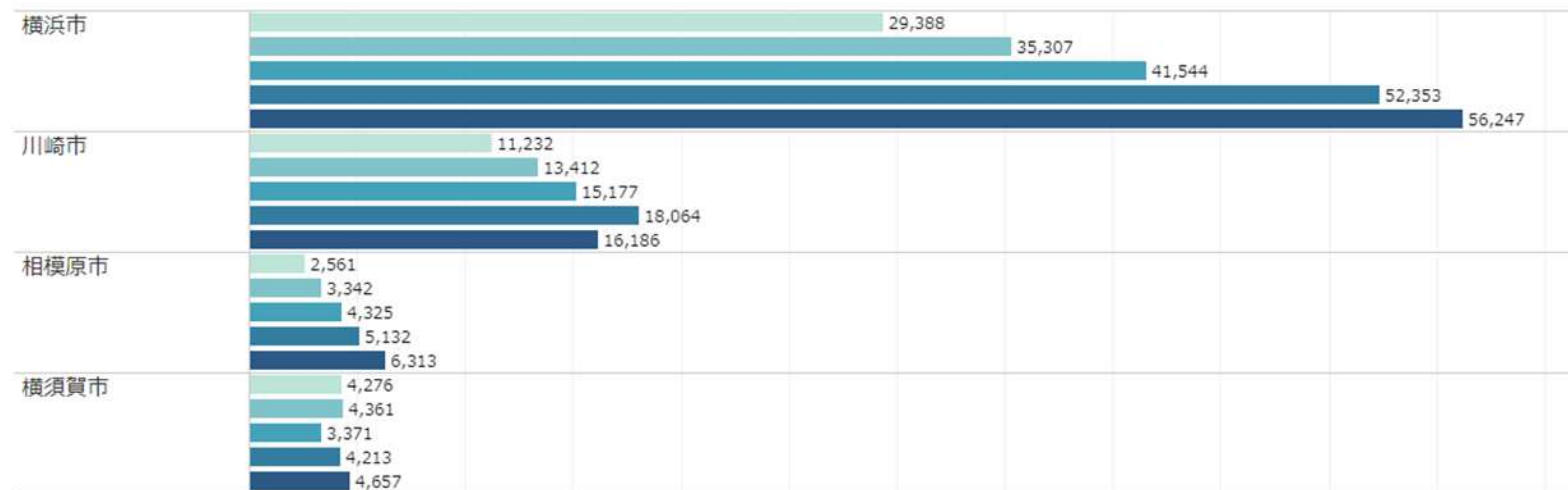
3 ⑦ 直近1年間の訪問診療等実施のうち、往診のうち緊急往診数(急変時の対応)

直近1年間の訪問診療等実施のうち、往診【再掲】緊急往診

年度 ▼ 表示指標切り替え
令和6年度 ▼ 実数 ▼

	緊急往診 (実数)
横浜市	56,247
川崎市	16,186
相模原市	6,313
横須賀市	4,657

年度
(すべて) ▼



- ✓ 各市町村別に緊急往診数を年度指定で把握
- ✓ グラフで年次推移を他市町村と比較
- ✓ 人口1万人対での表示も可能

- ◆ 横浜では急増
- ◆ その他の地域では横ばい又は地方では微減

出典：関東信越厚生局「在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院に係る報告書（様式11-3）」を県医療企画課にて集計

③ ⑧ 直近1年間の訪問診療等実施のうち、訪問診療数(日常療養支援)

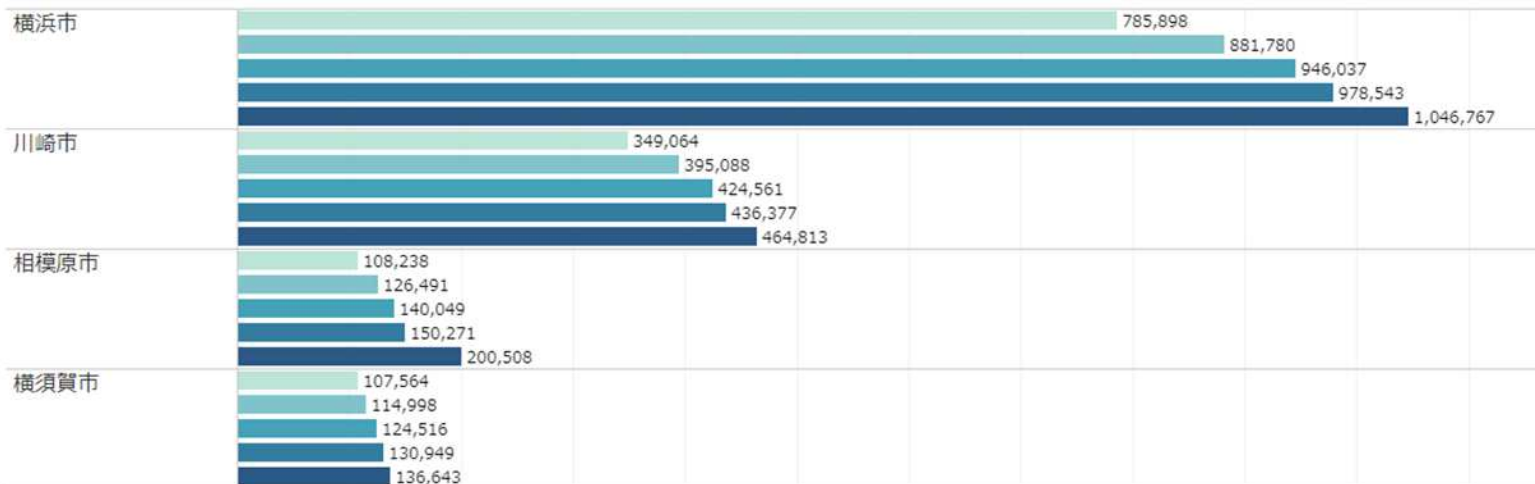
直近1年間の訪問診療等実施のうち、訪問診療

年度 令和6年度
表示指標切り替え 実数

訪問診療(実数)

横浜市	1,046,767
川崎市	464,813
相模原市	200,508
横須賀市	136,643

年度 (すべて)



- ✓ 各市町村別に訪問診療数を年度指定で把握
- ✓ グラフで年次推移を他市町村と比較
- ✓ 人口1万人対での表示も可能

- ◆ 在宅療養患者同様に各地で増加傾向
- ◆ 地方では令和4、5年をピークに微減に転じている地域もある

出典：関東信越厚生局「在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院に係る報告書(様式11-3)」を県医療企画課にて集計

3 ⑨ 直近1年間の訪問診療等実施のうち、訪問看護（緊急含む）

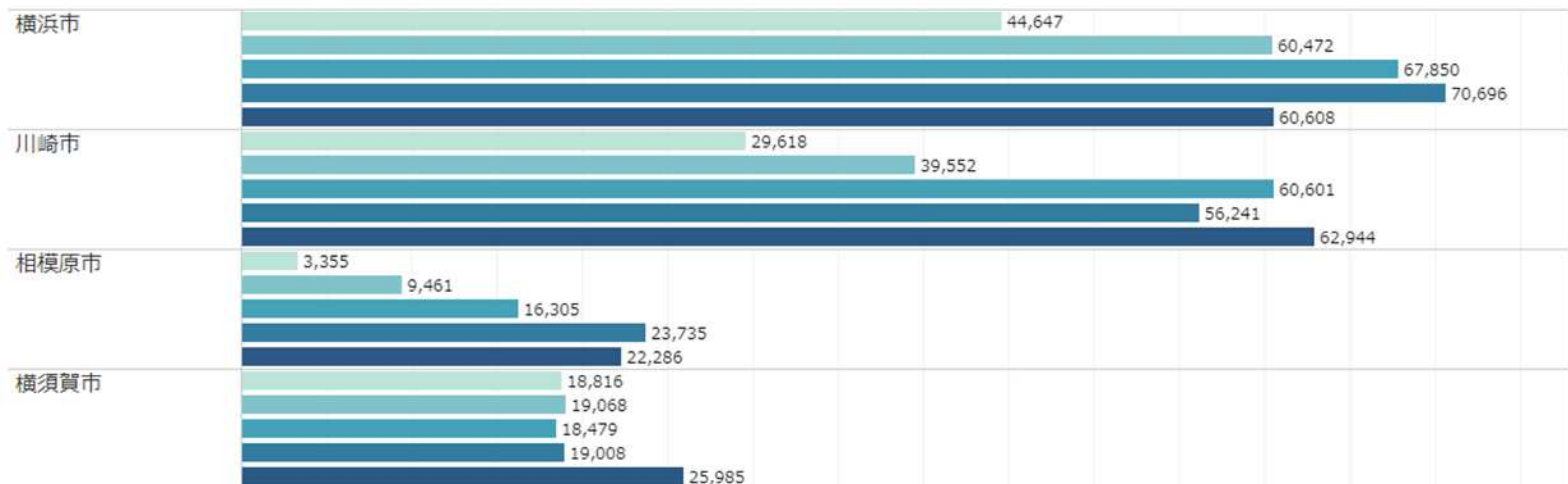
直近1年間の訪問診療等実施のうち、訪問看護（緊急含む）

年度 令和6年度
表示指標切り替え 実数

訪問看護（緊急を含む）（実数）

横浜市	60,608
川崎市	62,944
相模原市	22,286
横須賀市	25,985

年度 (すべて)



- ✓ 各市町村別に訪問看護を行った数を年度指定で把握
- ✓ グラフで年次推移を他市町村と比較
- ✓ 人口1万人対での表示も可能

- ◆ 地方では、在支診・在支病の訪問看護実績がゼロの地域が多い
- ◆ コロナ禍をピークに医療機関で訪問看護を行った回数は、減少している地域が多い